

## 令和4年度 第4回帯広市社会教育委員会議 議事要旨

1 日 時 令和5年2月21日(火) 18:30~20:30

2 会 場 帯広市役所 10階 第6会議室

3 出席委員 橋本 功、新川 和範、卯月 道彦、矢野 充、鳴海 亮、池田 健一、  
岸田 智子、川岸 仁、野原 一行、久保田 博己、重田 裕亮、  
廣瀬 有紀、金谷 洋子

(以上13名、敬称略)

4 事務局 生涯学習部長 井上 猛、生涯学習文化室長 河瀬 祐二、生涯学習文化  
課長 藤原 理恵子、図書館長 石津 邦久、児童会館長 渡邊 誠克、  
動物園長 柚原 和敏、スポーツ課長 佐藤 真樹、生涯学習文化課生涯  
学習係長 大橋 由幾、生涯学習文化課生涯学習係主任 米林 史哲、生涯  
学習文化課生涯学習係係員 土田 百花

(以上10名)

### 5 会議次第

(1) 開会

(2) 挨拶 帯広市教育委員会 生涯学習部長 井上 猛

(3) 報告

- ・令和5年度生涯学習部予算について
- ・市民文芸誌の配布について

(4) 議事 調査・研究について

- ・見学の振り返り
- ・活動報告の作成

(5) 連絡事項

閉会

### 7 議事要旨

(1) 令和5年度生涯学習部予算について

資料1を元に、令和5年度における生涯学習部の主な予算について説明。はじめに、生涯学習部関係の教育費予算総額は、表の右上のとおり、28億1,692万9千円であり、前年度6月補正後予算と比べ4億4,415万8千円の増となっている。昨年度比予算増の主な要因は、とかちプラザ外壁改修、動物園馬ふれあい舎整備、帯広の森体育館天井改修や照明LED化など、生涯学習施設に係る施設整備費の増によるものなどである。

次に、帯広市教育基本計画の基本施策から生涯学習部における主な事業について説明。

- ・基本施策2「変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成」について

「子ども向け鑑賞機会提供事業」では、親と子のわくわく音楽会や小中学生のための札幌コンサートを実施する。また、「図書館・学校の連携事業」として学校への図書貸し出し事業「ぶっくーる便」の実施、児童会館における宿泊学習などの「体験活動機会提供事業」を行う。

・基本施策5「自ら学びともに支える生涯学習の推進」

生涯学習活動の拠点である、とかちプラザ施設整備として、劣化が目立つ外壁の改修に2か年計画で実施している。また、児童会館施設整備として、寄贈いただいた昭和50年代の帯広市街地中心部のジオラマを常設展示し、市民にふるさとの歴史を伝えていく。さらに、動物園では、12月オープンを目指し、馬ふれあい舎を整備する。

・基本施策6「人が輝く文化芸術活動の推進」

市民芸術祭や新人演奏会の開催、伝統的なアイヌ文化・生活の場として、イオルの再生支援をはじめ、文化ホール小ホールでは、市内企業から椅子の寄贈を受け、更新工事を行う。工事期間は11月末から来年2月末ごろまでを予定している。

・基本施策7「笑顔をつなげるスポーツ活動の推進」

全国高等学校総合体育大会が帯広市を会場に3競技実施されることに伴う負担金のほか、2023フットバレーとかちマラソンや日本クラブユースサッカー選手権大会の開催関連経費を盛り込んだ。スポーツ施設整備では、帯広の森体育館の天井脱落対策改修工事などを行い、スポーツ活動の促進や、スポーツによる活力あるまちづくりを進めていく。

〈意見・質問なし〉

(2) 市民文芸誌の配布について

配付物の市民文芸誌第62号について説明。(欠席者には後日郵送。)昨年、十勝管内や十勝にゆかりのある方から作品を募集し、作品を表彰する制度で取りまとめた。昭和36年から続いている。令和4年12月10日に市民文芸賞を行い、発刊した。

〈意見・質問なし〉

(3) 調査・研究について

これまでの活動について、スライドや動画を用いて説明。

【グループワーク】

3つのグループに分かれ、感想や修正点を話し合った。最後にグループで上がった話題について発表。

〈意見・質問・たたき台への修正はなし〉

(4) 連絡事項について

事務局より、3点連絡事項をお伝えした。1点目、第61回北海道社会教育研究大会(留萌大会)のDVDが社連協より届いた。現在、生涯学習文化課で保管しているため、閲覧希望の方はご連絡を頂きたい。2点目、来年度の7月に、社会教育委員改選が

行われる。4月以降、一般公募の開始及び各推薦団体の事務局へ推薦依頼の案内をさせて頂く。3点目、次回の令和5年度第1回社会教育委員会議は5、6月頃を予定している。

〈意見・質問なし〉

以上